

厚木基地騒音対策協議会の要請について

■ 要請項目

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等について

- (1) 早期かつ確実に空母艦載機の移駐等を実施するとともにきめ細かく情報提供を行うこと
- (2) 恒常的訓練施設を確保すること
- (3) 空母艦載機による騒音問題の解決に積極的に取り組むこと

■ 要請先

内閣総理大臣	安倍 晋三
財務大臣	麻生 太郎
外務大臣	河野 太郎
防衛大臣	小野寺 五典
駐日米国大使	ウィリアム・F・ハガティ
在日米軍司令官	ジェリー・P・マルティネス中将
第7艦隊司令官	フィリップ・G・ソーヤー中将
在日米海軍司令官	グレゴリー・J・フェントン少将
厚木航空施設司令官	ロイド・B・マック大佐
第5空母航空団司令官	マイケル・S・ワシ大佐

■ 要請結果概要

協議会会員等が、外務省、防衛省、及び駐日米国大使館で要請活動を実施（他は郵送等）

外務省 (佐藤正久副大臣)	<p>○外務省として空母艦載機移駐の実現に向けて取り組んでいる。</p> <p>○9月の着陸訓練については、硫黄島で実施するよう申し入れるなど対応したが、台風の関係で、厚木基地で実施されたことは残念だ。今後はこのようなことがないように、米側には計画的に余裕をもって訓練を実施するよう申し入れていく。</p> <p>○移駐後の運用については、情報があれば早めにお知らせしたい。</p>
------------------	---

<p>防衛省 （山本ともひろ 副大臣）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○厚木基地は人口密集地域にあり様々なご負担をおかけしている。 ○在日米海軍から、厚木基地については、今後も着陸訓練の予備基地として指定され得る、空母艦載機の給油等のための使用もあり得る等の説明を受けている。 ○移駐後の米側の運用については全てを把握することは困難だが、情報を得られれば、きめ細かく丁寧、迅速に情報提供する。騒音は相当程度軽減されるものと考えている。 ○着陸訓練は硫黄島で行うよう、今後とも申し入れていく。 ○恒常的訓練施設については馬毛島を候補地として選定し、できるだけ早期に実現できるよう交渉している。適宜情報提供したい。 ○住宅防音工事、周辺対策については、必要な予算を確保して取り組んでいきたい。
<p>駐日米国大使館 （ジョセフ・M・ヤング 首席公使）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○米軍駐留にあたっては地元自治体の理解が重要である。大使館としても地元への影響が最小限になるよう努めている。 ○着陸訓練を行う恒常的訓練施設の選定について、進展させるよう定期的に日本政府に伝えている。 ○今回の要請についてはハガティ大使に伝える。